

## 教育図書を紹介

楽譜集・製作材料

山村きよ

### ◎最近の楽譜集について

昨年度中に見たものの中には、幼稚園だけで使用するために選曲されているものあまりなくて、「母と子のための音楽」といったようなものが目立って多くなつたように思います。また幼児雑誌の附録として入ってきたものの中にも取りあげられるものがありました。「ぎんのすず」などは新曲が一枚ずつ挿入されてありましたので、保育室用に備えたものの中からはずして「楽譜集」を造っておくべしと便利です。

次に記す図書は幼稚園内で利用できる歌曲を案外たくさん盛りこんで使いやすくしてあるように思います。

○「みんなでのしく」日本幼児教育研究会編 フレーベル館発行 (二五〇円)

これは一昨年四月から発売された「保育レコードシリーズ」の手から、きくこと・歌

うこと・ひくこと・うごきの四つの分類のもとに、レコードを選び、一か年間の教材二五曲を編集したもので解説書と楽譜集が二冊に分けられていることが便利です。とくに鑑賞教材は曲想がつかめる程度に、誰にでもひきなせるように変曲してのせてあることも利用されやすい点だと思います。

◎第二集「歌つて、おどつて、げんきよく」前と同じ種類のもので内容をかえたものが五月中旬にはフレーベル館から発売される予定です。

○こどもミュージカル・7つのオペレッタ  
藤田妙子著 フレーベル館発行(三四〇円)

どちらも手にした時はちょっとむずかしい専門的なものを感じましたが、内容のいくつかが「たろうのパケツ」「おサルとはながさや」などゆかり幼稚園の実際のうごきを見て、こどもたちがよく音楽のふんいきにとけこみ、リズムにのつてたのしそうちに演じているのを見て、案外利用されるのではないかと思いました。

○こどものための音楽リズム十二ヶ月  
本多鉄磨、山田光、山村きよ共著、  
(六〇〇円) ひかりのくに社発行

これは四年前に出版されたものですが、これをつくった時に教材としたものは、三つの幼稚園でこどもたちがよろこんで歌っ

ているもの、おどっているものの中から選んでのせましたので案外利用度が多かったようです。とくに歌の指導から展開してうごきになるまでのつなぎの音楽も、そのために新しく作曲されたものだっただけに魅力だったのではないのでしょうか？ これも解説書と楽譜集とが二冊に分かれていることは使いやすいようです。

### ◎製作材料を扱った図書について

製作方面のことをかかれた図書は案外少ないようです。折紙細工とか、自然物利用とかは、教師の指導のもとに、ある程度の技術を用するために全面的には幼稚園向きとは言えません。

幼児の創作意欲を盛りあげるための製作材料(素材)については幼稚園の先生方は常に苦心して集めておられるようで、そのことについては毎月発行されている月刊カリキュラムや保育ノート、保育の手帖や、幼児と保育など、保育指導書に毎月少しづつものせられていくようです。

最近発行になったものとしては次のものを紹介します。

○新、自由製作十二ヶ月 松石 治著  
ひかりのくに社発行

(文京区立第一幼稚園長)